



千葉県豪雨災害

8月13日、千葉県は記録的豪雨に襲われました。特に千葉市中央区、佐倉市、市川市、大網白里市、柏野田方面等千葉県北西部を中心に経験したことのない雨量でした。千葉市中央区では13日午後6時45分までの1時間に115ミリ、14日午前1時40分までの12時間雨量が348ミリと統計史上最多でした。死者13名、行方不明者1名という。比較的災害が少ない千葉県ではかつてなかった経験です。つくづくわかったのは洪水被害にあう条件は標高に関係なく地形と排水の条件によるということです。日ごろから自分の住まいや職場がどのような条件なのか承知しておかなければならないことでした。線状降水帯による豪雨被害は千葉県のあと、埼玉、富山、石川、福井と続いています。温暖化により気候変動が生じていると覚悟しなければいけないと思います。

(写真・文：加瀬澤文芳)



大網白里駅周辺 冠水したが
数日後水は引いていた



佐倉 車両水没



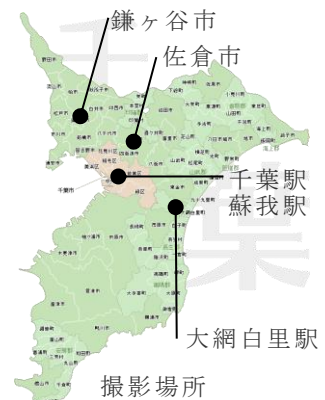
鎌ヶ谷 アンダーパス
車両水没



蘇我駅前



千葉駅周辺 冠水車両多数止まる



撮影場所

* 目次 *

新建

ちば

2026年9月号

No.307



02	目次・企画予定表 旅の想いでスケッチ No22	鈴木進
03	8月13日千葉豪雨災害	鈴木進 高山登 加瀬澤文芳 中安博司
06	緊急報告 2026 熊本地震・現地訪問	田中和広
09	仕事を語る会報告	加瀬澤文芳
11	ちば建築・街並み探訪「柏の葉キャンパス街歩き」報告	中安博司
13	第48回世界まち歩き1 南フランス：ニースからリヨン、パリへ	高山登
16	事務局だより	

* 企画予定表 *

月	支部企画	その他企画	全国・他支部企画	その他
9月			12(土), 13(日) 全国幹事会	10(木) 20:00~ Web 支部幹事会+交流会
10月			3(土), 4(日) 建まち セミナー in 埼玉	8(木) 20:00~ Web 支部幹事会+交流会
11月				10(木) 20:00~ Web 支部幹事会+交流会
12月	総会・忘年会			8(木) 20:00~ Web 支部幹事会+交流会

【旅の思い出スケッチ No22】

鈴木 進

● 国外編 (イタリアその3 ミラノ・アッジンジ)



ミラノは北イタリアの政治、経済の中心地でファッションのまちでもある。ドゥオモはイタリア最大のイタリアゴシックの聖堂で、建設に500年もかかったという。135もある尖塔がこの聖堂のファサードを特徴づけている。屋根の上から見たミラノ市内や山々の景観も素晴らしい。ドゥオモの隣にある高級ブティックが立ち並ぶアーケードのガレリアも楽しく歩ける空間だった。ミラノでは、ミケランジェロの彫刻、ロンダニーニのピエタ、ダビンチの最後の晩餐にも目を奪われた。

アッジンジは中世の石造の建物が連なる街並が美しい山岳都市。コムーネ広場は市庁舎やローマ時代のミネルバ神殿に囲まれ、構成が巧みで美しい空間だった。聖フランチェスコの生誕地で初期イタリアゴシックの聖フランチェスコ聖堂がある。芸術・平和と祈りの街としても知られる。

8月13日千葉豪雨災害について

鈴木 進

熊本で、大きな地震災害が再び発生。8月13日には千葉を中心に豪雨による大きな災害が起こってしまいました。海外でも地震による大災害が各地で起こっています。

一方、温暖化対策を無視、さらに、戦争が世界各地で起こり(起こし)、人命を奪うこと、美しい自然や街、貴重な天然資源の破壊を何とも思わない為政者達に怒りを覚えます。

【8月25日千葉県内の豪雨被害】 ※被害、避難所情報については千葉県 HP(8/23)を参照

被害は全県で、死者13人、全壊3棟、半壊302棟、床上浸水2218棟、床下浸水1987棟となっています。最大 1,187 世帯 4,126 人が避難所で過ごしました。

千葉市では夜 7 時頃にほとんどの公民館で避難所を開設しました。私は 8 時過ぎに避難所の運営に関わっている近くの公民館で、1 時間ほど、ランタン、水・食料、毛布など避難所開設の準備を手伝ってきました。

線状降水帯の気象庁発表は 5 時 58 分、千葉市では 18 時 10 分に避難指示が発令されましたが、その頃は既に豪雨、雷が恐ろしい状況になっていました。私の携帯には 6 時 15 分頃だったか、突然市役所発の警報が何回か鳴り響きました。千葉市では、24 時間降雨量が 360 mm、1 時間 115 mm ほどの激しい雨が降り、停電が発生しました。鉄道は千葉より南や東方面が運休し、一部の高速道路も交通止めになりました。8 月 17 日時点で、路上で冠水し動けなくなった車、2700 台以上が放置されているとの報道がありました。8 月 14 日と 16 日に県庁や蘇我駅周辺に行く機会がありましたが、幹線道路にかなりの数の放置された車が残っていました。



千葉市内県庁周辺の放置された車

今回の豪雨は、県内各地で深刻な浸水被害、農業被害、土砂崩れの被害などを引き起こし、千葉市内では2万軒近くの住宅が停電しました。断水した地域もありました。これからの復興にも時間がかかることが予想されます。猛暑の中での厳しい避難生活を強いられる方々もおられます。国、県、市の被災状況を踏まえた、早急かつ幅広い支援をお願いしたいと思います。また、これを教訓に行政にも地震・津波に加え、台風、豪雨や高潮の対策にもこれまで以上に取り組んでいただきたいと思いますし、私たちもそれらを頭に入れた防災対策を行う必要性を痛感しました。

【令和 8 年熊本地震】

私は前述のように、地域の避難所運営委員会に関わっていることもあって、熊本の地震報道で何点か気になることがありました。

① 首相が視察した避難所はかなり整備されていたようです。避難生活を説明した避難者は国に十分やってもらっていると。報道されている過酷な被災状況とかけ離れていると思います。防災に責任のある国のトップは、訪問するのであれば被災者の厳しい避難生活や生の声を見、聴き、避難者を支援する施策に反映させる必要があります。首都圏での大地震

は、さらに厳しい災害、避難生活が予測されます。避難所の環境整備には国がもっと主体的に関わって欲しいものです。

② 停電でエアコンが使えず、被災した方々は避難所や在宅でも、避難生活は過酷な環境で行われています。被災した住宅の片付等も、被災者、行政職員、自衛隊、ボランティアの方々が厳しい環境な中で対応されています。何度も繰り返される光景に心が痛みます。国は、県や市町村と協力して、被災された方々をサポートするとともに、抜本的な防災対策も考えてほしいものです。

③ 熊本県知事が被災した敷地への仮設住宅建設を発表しました。能登地震の仮設住宅建設遅延理由の一つが「建設用地の不足」でした。能登には、被災住宅解体後の更地が沢山あり、土地は十分なのに何故と思いました。これらの土地に建てれば、居住地域に住み続けることができ、払い下げを受けて住み続けることもできそうです。是非、実現してほしいと思います。

高山 登

私の住まいは市川市のマンションで近くに一級河川大柏川があります。この度の豪雨で氾濫に関する警戒レベル 5「緊急安全確保」が発令されました。約 43 年在住になりますが、この間私のマンション周辺では 2 度内水氾濫があり、駐車場の車が水没するなど大きな被害が発生しました。

その後、国庫補助事業である激甚災害対策特別緊急事業でもって河川整備され、私の知る限り今回の豪雨での被害はありませんでした。強力な排水ポンプが設置されており、それがフル稼働して内水氾濫を防げたと思われます。

【千葉県豪雨被害 8 月 22 日午後発表データー】

住宅被害 4095 棟、全壊 3 棟、半壊 151 棟、一部破損 63 棟、床上浸水 2032 棟、床下浸水 1846 棟

中安 博司

私の住む千葉市若葉区の外れにある地域は高台にあるため被害はありませんでした。地域内での高低差はありますが低い方向に繋がっているので滞留する事はありませんでした。ただ、千葉中心街と東金を結ぶ東金街道は一部段丘崖を通り周りは田圃が多く数日浸水していました。その田圃では流された軽トラを助けようとした近隣の住民が流され亡くなりました。また、街道に直交する大きな団地を結ぶ交差点は低地にあり 4 日程通行止めでした。翌 14 日に用事があり車で東金街道を避け千葉駅に向かいました。途中高低差がありましたが水は引いてました。ただ、浸水して放置された車が 7、8 台あり、一週間後に同じ道を通りましたが無くなっていました。

一部の住宅メーカーでは水に浮いたり水が入らないサッシなど浸水対策をした住宅を販売しており、今回を含め過去にも被害のあった茂原や大網で売れているようです。少なくとも敷地や周辺環境を十分吟味し対応した住まいづくりが求められます。

加瀬澤 文芳

8月13日は静岡県富士宮市の実家にいる102歳の母に会いに行き帰る途中でした。千葉市内各所の冠水が甚だしいとのことと心配していましたが、私の家は大丈夫でした。翌々日近隣を見て廻ると歩いて5分ほどのみつわ台大通りは冠水したようで車が何台も止まっていました。床上まで来てその周辺の店は荷物を表に出してある状態でした。コンビニ店は床上70cm、付近住宅も畳の上まできた家もあって家財が表に出されていました。水は引いていましたが道路中央に止まっている車もあって大渋滞でした。この辺りは何年か前に冠水したので、洪水を防ぐため脇の公園に巨大地下貯水槽を建設したのですが全く効果無かったのです。普段過ごしていると気が付かないが、その場所が冠水するかどうかは地形によるということがよくわかりまし



蘇我周辺 腰まで水につかっている歩行者

た。道路を見てみるとわずかながら窪んだ形状をしています。千葉市中央区蘇我駅付近はかなり冠水したところがあったため付近にいた人から送られた画像では歩行者は腰まで水につかっていました。週明け、大網白里に以前設計した保育園があり、気になっていって見たところ水は上がらなかったのですが、山裾だったので裏山ががけ崩れして、その泥水に外壁が襲われていました。幸い保育室の床までは来ていなかったのですが、空調の室外機がやられてエアコンなしの状態でした。でも子供たちは元気に普段通り来ていました。大網駅周辺は道路面に泥が残っていました。水はすっかり引いて正常に戻っていました。



冠水したみつわ台大通り わずかに窪んだ地形 左手地下貯水槽無駄だった



大網白里の保育園 裏山土砂崩れを被って危なかった

【緊急報告 2026 熊本地震：田中 和広】：現地訪問 8 月 22， 23 日

令和 8 年(2026 年)7 月 28 日 16 時 27 分頃、熊本県宇城市と氷川町の境界付近を震央として、暫定マグニチュード 7.1 の、内陸横ずれ型地震が、深さ約 16Km で発生しました。西側(平地側)が北東へ、東側(山地側)が南西へ移動しました。

熊本県が 8 月 21 日 14 時に公表した災害規模は、人的被害が 399 名(内死亡 39 名) 住家被害が 36,784 棟(推計値)で、内全壊が 1,613,半壊が 2,118,一部損壊が 17, 945 分類未確定が 15,108 棟になっております。**【8 月 29 日発表では、住宅被害 42,222 棟】** 避難所は、11 市町村で 69 カ所・2,884 名が避難しています。

また報道等で周知のとおり、日本製紙八代工場内の煙突倒壊で死者 9 名、そしてイオンモール熊本の爆発で、死者 7 名がでています。このイオンモール熊本は、爆発片が飛びちった河川側(写真左側)は、現場検証や事故爆発原因調査のため爆発時点の状況のままでした。鉄骨などがむき出しになって風圧の凄さが感じられます。一方反対側は、あまり報道されていませんが、写真右側のとおりいつもと変わらぬ感じ です。警備員の方に話を伺うと、未だテナントの商品が大量に残されたまらしく、館内の停電も続いているため、警察の方たちとともに、24 時間の警備を続けているそうです。



次に国道 266 号線を南下して、宇城市方面に向かいます。途中アイシン九州の工場の脇を通りましたが、特段変わりはありませんでした。宇城市中心部(旧松橋町)に入るとところどころにブルーシートを屋根にかけた建物が見えました。道路はたまに小さな路面凸凹がある程度で、通行に支障はありませんでした。

八代市に入ると、景色は一変しました、橋脚部の通過時は必ず段差があり、徐行しなければなりません。鏡町のセブンイレブンで休憩しましたが、周辺は古い建物の倒壊が目立ちます。1階部分が潰れている家屋を数件見ました。屋根にブルーシートをかけている建物も多いです。コンビニ付近の家屋等には、**【応急危険度判定結果】**の貼紙があり、**建築物・転倒危険物の赤紙(危険 UNSAFE)**が目立っていました。(次頁の写真) 8 月 6 日の判定日と記述があります。コンビニの脇では買い物を済ませて、ただボーゼンと、赤紙が貼られている我が家を、じーっと見つめる老夫婦の姿がありました。

声もかけられず、私もしばらく呆然と見つめてしまいました。本当はインタビューをしたかったのですが、心が痛んで勇気を持って声掛けできない、そんな状況でした。



八代市のJR千丁駅に着いた時は、日没になりあたりが暗くなってきました。駅の西側にある古い家屋も、1階部分が潰れていました。当日はJR新八代駅近くのホテルに宿泊しましたが、ロビーにはカップ麺やミネラルウォーターがあり、余震や断水に備えていました。電気・水道は使えていましたが、夜間断水のため21時から翌朝6時までは節水の呼びかけがされていました。朝食はいつも通りのバイキングでした。



翌朝八代JCT付近に向かいます。ここもTV等で高速道路の橋脚接続部分の段差が生じている映像が、上空からのヘリの撮影で盛んに報道されていました。ジャッキアップにより、橋脚の接続部の段差が解消され、通行できるようになった現場です。

そしてここから車で数分行った、八代市宮地町にある八代神社(八代妙見宮)境内の社殿や建築物の損壊や、灯籠などの倒壊も盛んに報道されていました。

現地に行くと、本殿の損傷はそれほどでもありません、また本殿西側の社務所側は、断層が露出していました。宮司さんに話を伺うと、「突然地盤が動いた」そうです。



国土地理院が公表した、八代市千丁にある電子基準点の変動は、北東方向に、約87cm、約33cmの沈降の地殻変動がみられます。(最大の動き、倒壊家屋に象徴)

https://www.gsi.go.jp/BOUSAI/20260728_kumamoto_earthquake.html#2

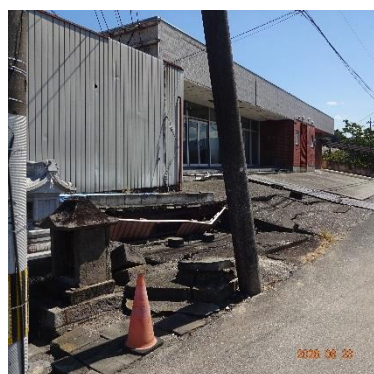
その後、道の駅竜北に立ち寄りました。この駐車場は地震直後にアスファルトが凸凹状態になり、車が駐車できない状況になりましたが、4日後には応急処置が完了して、車が駐車できるようになったそうです。当日も地元特産のナシやブドウが沢山人荷しており、飛ぶように売れてました。私も幾つか購入しました。とても美味しかったです。移動式の仮設トイレ搭載車両も3台止まってましたが、利用者は少なくなったそうです。空調がきいた休憩室には、数名の老人がいました。車中泊だそうです。トイレ・空調・食料があり駐車ができる道の駅は、避難所とは違った形での、利用ニーズがあるみたいです。道の駅近くのコンビニも、駐車場が使えて、トイレも利用可能でした。



その後さらに国道3号線を北上して震央に近い、氷川町と宇城市の境界付近に立ち寄りました。町と市の境界になっている砂川にかかる刈萱橋は、給水管が接続されてました。宇城市側の建物では、応急危険度判定結果の危険貼紙がある建物が、目立ちました。また多くの関係者が、住宅や附属構造物、側溝等の復旧調査にあたっていました。兵庫県と書かれた制服を着た人が数人いました。

写真は復興会館小川刈萱館(※)近くの、刈萱橋付近です。

※10年前の熊本地震の仮設住宅を利用した、コミュニティセンターで2021年10月竣工



視察報告のまとめとして、やはり現場が大事だと痛感しました。事実を正しく把握して、今後のためにいかす教訓を、見出さなければなりません。

仕事を語る会

報告 加瀬澤文芳

6月28日、恒例の「仕事を語る会」を南房総館山市で東京大学岡部研究室が管理する古民家ゴンジロウにて開催しました。

最初に報告したのは岡部研究室の学生達です。岡部研究室は社会文化環境学の視点からまちなみや人々の暮らしの環境改善をテーマにしていますが、今回の報告はベネズエラでした。紹介されたのは「バリオ」と呼ばれる都市の周縁部にある低所得者層が住むスラム地区で、首都カラカス圏域では人口の半分が住んでいるといえます。バリオの多くはインフラ整備が難しく、都市開発がされないまま残された斜面地に、住人たちが自力で家を建ててできあがった場所で、交通アクセスが大きな課題でした。マドゥロ政権の前身チャベスの時代にゴンドラ（都市型ロープウェイ）が導入され、さらに階段も整備され、スラムとはいえ明るい魅力的な雰囲気に満ちているといえます。岡部先生は米国によるマドゥロ大統領拉致のなんと2か月前にベネズエラで開催された「世界バリオ会議」に出席していたのですが、会議参加者の中心が「コムーナ」というバリオの自治組織のメンバーだったといえます。コムーナはチャベス政権以降に制度化が進められた地域共同体による自治組織で、生活環境、教育、医療など、地域社会が抱える諸課題に対し、住民が主体となって統合的に取り組むことを可能にする仕組みとして注目されています。大統領拉致以降の社会の状況は何も変わっていないとのこと。6月24日発生した大地震の情報ですが、被害が大きかったのはブルジョワ階層の住む北部の海岸沿いの高層建築で、バリオは影響なかったとのこと。学生達は8月にベネズエラに行くと言っていました。

次は宇野武夫さんの報告で特養「こぶしの里」



です。千葉市山王町の地域に山王病院はじめ9か所の医療福祉施設が宇野さんのUCA・都市・建築設計事務所設計により建設されています。その間約40年、地域の人々の協力もあり、人々から信頼される施設づくりに取り組んできたとのこと。「こぶしの里」では外に出られない入居者に室内からも目に優しい木の表情を見せたいと外部に日陰のできる杉材の縦格子を計画しましたが、バルコニーが建築面積に算入されると指摘され、残念ながら上部1/2カットして止めたといいます。魅力的な建築でした。

稗田忠弘さんはライフワーク「さんむフォレスト」の報告。さんむフォレストは、千葉県山武地域を中心に、風土の再生・地域の再構築を目指して活動する建築関係者のグループです。特産材である山武杉を用いた、地元の素材と地元の技術による地産地消の建築づくりに取り組んでいます。稗田さん設計で最近竣工したJR東金駅の駅舎トイレが紹介されましたが、山武杉を使った木造平屋建てで駅舎とは思えないやさしい雰囲気でした。

鈴木進さんは「私の建築物バリアフリーデザインとの関わり」というテーマです。県庁在籍時代の仕事で養護学校（現特別支援学校）を手掛けたこと、千葉県福祉のまちづくり条例制定を担ったこと、住まいと福祉の会の中心となって活動したことを報告しました。

館山市在住の精神科医堀江さんは市民と起ち上げる美術館の提案をしました。明解で好感持てるレポートでした。堀江さんは館山市の女性会員金澤さんの紹介でお付き合いするようになり、毎回発表をしてくれています。

最後は加瀬澤が直近竣工した障害者グループホームを紹介しました。木造2階建てで延べ1000㎡近い大きな建物でした。苦労話を始めるときりがないので、簡単に報告して終わりました。

会員6名と少なかったのですが、学生さん達の参加で充実した集まりとなりました。会の終了したあと皆さんで岡部さん手作りの昼食をいただき楽しいひと時を過ごし解散しました。岡部研究室の皆さんに心から感謝です。



ちば建築・街並み探訪「柏の葉キャンパス駅周辺」報告

(文・中安博司、写真・鈴木進)



5月2日つくばエクスプレス（TX）の柏の葉キャンパス駅周辺を4人で尋ねました。これまで歴史ある地域を散策して来ましたが今回は新しい街です。東京の秋葉原駅と茨城県のつくば駅を結ぶつくばエクスプレスは2005年に開業。千葉県内では隣の流山おおたかの森駅と共に住みやすい街として人気があります。2000年から千葉県が事業主体となり整備が行われ、2008年に千葉県、柏市、東京大学、千葉大学の4者で「柏の葉国際キャンパスタウン構想」策定され、「環境共生都市」「健康長寿都市」「新産業創造都市」の3本柱と、8つの目標（環境と共生する田園都市づくり、創造的な産業空間の醸成、国際的な学術・教育・文化空間の形成、サステナブルな移動交通システム、健康を育む柏の葉スタイルの創出、公・民・学連携によるエリアマネジメントの実施、質の高い都市空間のデザイン、イノベーション・フィールド都市）、27の方針が体系化され、それらを統括するUDCK（柏の葉アーバンデザインセンター）が柏市、柏商工会議所、田中地域ふるさと協議会、柏の葉地域ふるさと協議会、三井不動産株式会社、首都圏新都市鉄道株式会社、東京大学、千葉大学の8構成団体で運営されています。地域内には東京大学柏キャンパスや千葉大学環境健康フィールド科学センター、国立がん研究センター東病院などが集積しており、研究開発都市としての存在感が高まりつつあります。また、近年はライフサイエンスや医療、宇宙関連研究などの分野で連携が広がっているようです。

当日は連休初日の土曜日という事もあり集合場所の駅は混雑しており、何かの団体

の見学会なども開催されるようで多くの人が集まっていました。

駅から5分程にある柏の葉アクアテラスに寄りました。大規模開発に付きものの調整池を人が出入りできるよう 2016 年に改修され、池に張り出したデッキや段状の斜面などが設けられ、様々なイベントが開催され多くの人が集まるようです。土木学会デザイン賞やグッドデザイン賞を受賞しています。

池に接して蔦屋書店などの商業施設や駐車場の T-S I T E があり賑



柏の葉アクアテラス(北部中央2号調整池)
正面の円形のビルがSMC(株)Japan



柏の葉アクアテラスに面して商業施設や
駐車場があり賑わっていました

こんぶくろ池自然森が柏市から管理業務を委託され活動しています。好天の中、涼しい森にホッとしました。国立がん研究センター東病院や柏の葉公園を横目に見ながら駅に向かいました。大きな通りは舗装され樹木に覆われており歩き易そうですが、舗装が固いため長く歩いていると疲れます。雨が浸透するクッション性のある舗装にしてほしいです。駅近くのららぽーとで軽く飲んで解散しました。

わっていました。反対側にはつくばから移転した SMC (株)Japan (圧縮空気を動力源として自動化を行う空気圧制御機器のトップメーカー) のビルがあり近未来的な風景を醸し出しています。そこから北側数分にあるこんぶくろ池自然公園に寄りました。18.5ha の広大な森に囲まれた場所で中にあるこんぶくろ池と弁天池は手賀沼の現存する自然水源の一つです。N P O



柏の葉公園通り

4. セナク修道院からボニュー村、ゴルドへ

前回は「フランスで最も美しい村」に認定され、山あいの村とは思えない洗練された雰囲気
のルールマランをご紹介しました。続いて訪れるのはヴォクリューズ県・ゴルドにあり、ラベンダ
ー畑に映える有名なセナク修道院と丘の上からの絶景が見られるボニュー村、そして鷲の巣
村といわれる城塞化されたゴルド村をご紹介します。

セナク修道院

セナク修道院はラベンダー畑に映える美
しい景観で有名。この修道院は清貧を旨とするシ
ト一派の雰囲気を持ち、静かで簡素な造りが特
徴。1148 年に創設で、1150 年から修道院として
活動されている。

修道院は奥深い谷間にあり、周辺には建物な
どは一切見られない。未来に継承するため景観
に関する条例で、厳しく建築制限されていると
いう。修道院の中庭はロマネスク様式特有の半
円アーチの回廊で囲まれており、美しく厳粛な
趣き（写真①）。

訪れたのは9月下旬、ラベンダーの花は摘み
取られた後であったが、旬の時は写真②（ネット
情報より引用）のようになる。まさに絶景！！

ボニュー村

ボニュー村は教会を中心に50mの位高台に
ある古い城塞村から始まり、その後麓にも村が
発達してきてこの地区にも教会が建設された。

現地在住でガイドのYさんのお勧めでこの村
のビューポイントへと向かった。プロヴァンス
リュベロン地方の遮るものが何もない雄大な景
観に感動！！ ラベンダー畑やブドウ畑などが織りなす田園風景が展開していた。



眼下には教会を中心とした麓のボニュー村、古びたテラコッタ風な屋根の街並が実に美しい（写真④）。景観を阻害している工作物や目立つ色の建物がまったくなく、厳しく景観がコントロールされているようである。高台からの眺望は、都会暮らしに疲れた人々を惹きつけてやまないという。



ところでボニュー村の中心地区は中世以来まったく変わらないようである。道幅は狭く信号があり、交通規制して街並を守っている（写真③）。

ゴールド 「フランスで最も美しい村」認証の村

村の入り口にはその認証のプレートが GORGES（ゴールド村）の下に掲げられている。またボリーという写真のような石積が、農家や屋敷周りを囲っているのがこの村の特徴（写真⑤）。野積みで笠石には大きな石が置かれ、侵入しようとするれば崩れやすく危険な造りになっている。



ゴールドのように山頂に集中して佇む村は「鷲の巣村」といわれ、フランスでは 100 ヶ所以上あるらしい。この地はイスラム教徒をはじめ、東方からの異民族の襲撃を受けてきた。その監視のため高台に村を造り、山の上に堅牢な城塞を築いた。



ゴールドは完全に要塞化された城郭で、村の入り口は頂上のゴールド城近くにある。お城は 11 世紀に城塞化されて以来、この村の暮らしを見守ってきた。現在は役場が入っているが、多くの芸術家に愛され芸術への振興活動の場にもなっている。写真⑥は村



の内側から見た城門。写真⑦はこの地域特有のカラードと呼ばれる曲がりくねった石畳の坂道。この村の1番の見所は山を見るように村への眺望。写真⑨は道路脇のビューポイントより見る全景である。コルドはこの地方を代表するまるで絵画のような村。丘の上の古城に向かって石造りの家々が階段状に折り重りながら、岩肌と見事な調和を見せている。更に木立の深い緑がくっきりと浮かび上がりそれは神秘的な美しさである。



まち歩きで1番の楽しみは、雰囲気の良い路地を見つけること。石造りの古い建物が立ち並ぶゴルド村の中は素敵な路地にたくさん出会える。建物の特徴としては外壁が石積みそのままのものが多く、それだけ街並が古いということ。漆喰仕上げのものは、後ほど修復されたものと思われる。

急斜面の路地を降りていくと建物の中から、森や穀物、ブドウ畑等が織りなすこの地方独特のモザイク模様の田園風景に魅了される。眼下を見下ろす鷲の巣村、まち歩きの醍醐味がここにある（写真⑧）。



○建築とまちづくりセミナーin 埼玉

テーマ：埼玉から愛をこめて「建築とまち」の歴史と未来を考える

開催日：10月3日（土）13：00～20：30 4日（日）9：00～16：00

会場：埼玉会館（前川國男設計）2階ラウンジ（定員 90 名）

詳細と申し込みは全国ホームページ参照。支部事務局でも対応します。

○支部幹事会

毎月第2木曜日夜8時から ZOOM で開催しています。支部の企画について話し合うことと支部機関誌「新建ちば」の編集会議をしています。支部会員は自由参加ですので是非ご参加ください。「新建ちば」は会員の日ごろの仕事、活動を紹介することを主としています。皆様の投稿を期待しています。個別に声をかけさせていただきますので、ご協力ください。

○WEB ちば塾

幹事の持ち回りで原則隔月第1金曜日に開催することになっています。幹事会にて検討中。

○建築・街並み探訪

年2回程度（候補地：東金、市川、行徳、三里塚など）特に東金検討中です。

以上お問い合わせは事務局まで

事務局だより

今号は8月の千葉豪雨を受けて報告特集としました。千葉の後も各地で豪雨が続いています。台風接近によりまた同様の被害が発生する可能性が高いです。温暖化による気候変動を真摯に受け止めて再考しなければなりません。屋根裏の換気に棟換気を多用していたのですが、この豪雨で雨漏りしました。（加瀬澤）

新建千葉支部事務局：株式会社 ゆま空間設計

TEL:043-253-8801 FAX:043-253-8806

千葉市若葉区みつわ台5-4-14

E-mail: office@yumaku-kan.co.jp

新建千葉支部ホームページ : <http://www5e.biglobe.ne.jp/~shinken/chiba/>

発行：千葉支部幹事会
編集：千葉支部幹事会
編集ワーク：中安博司

編集後記：会員の皆さん、8/13～14の豪雨の被害は無かったですでしょうか？気候変動の影響と言われますが便利な生活を追い求めてきた事へのしっぺ返しでしょうか？子供や孫の代にはもっとひどい状況になるのでしょうか？（中安）